

幼少児期における 身体活動促進プログラムの開発と効果検証

教育学部児童教育学科 准教授 米野 吉則

キーワード 遊び、座位行動、運動能力、睡眠、排便習慣

該当するSDGs

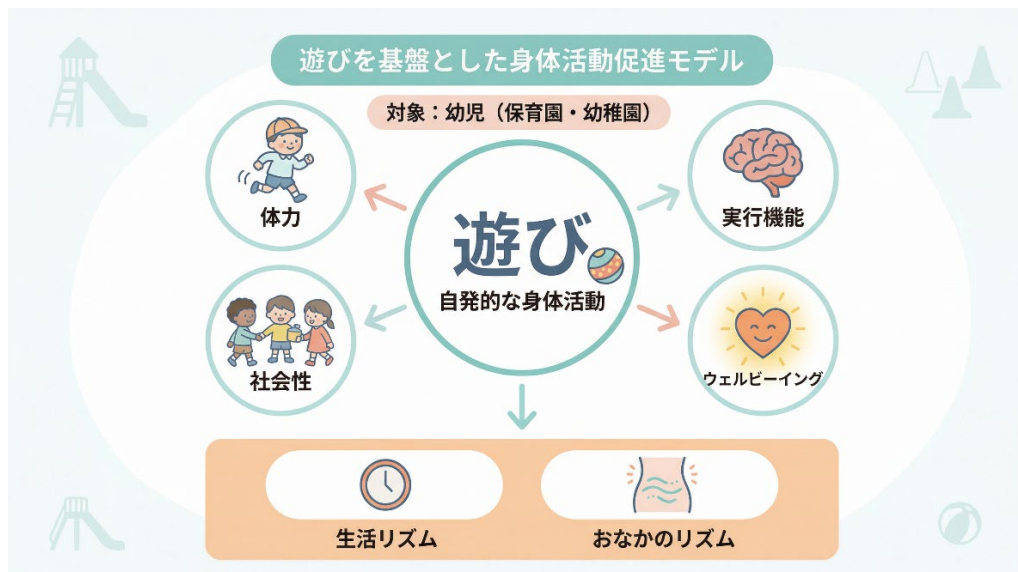
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

幼児・児童期を対象に、日常保育・教育の中で実装可能な身体活動促進プログラムを開発し、体力・実行機能・社会性・ウェルビーイングへの影響を検証します。特に「遊び」を基盤とした自発的身体活動の促進モデルを構築します。

これまでの運動遊び介入研究や身体活動量測定の結果を基盤に、粗大運動能力や実行機能、非認知能力との関連を分析するとともに、最近では排便習慣との関係に着目してきました。身体活動は腸蠕動や自律神経機能に作用し、排便の規則性に影響を及ぼす可能性があります。研究活動を通して、身体活動、生活リズム、排便状況を縦断的に把握し、保育・教育現場で実装可能な生活習慣改善モデルの保育・教育と連携しながら社会貢献を目指しています。



2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・保育、教育、発達支援における遊び環境、指導、支援方法
- ・養護教諭など学校保健推進
- ・自治体健康政策、地域包括ケア分野

これまでの連携実績

- ・保育所・幼稚園との共同研究、コーディネート、研修会の講師(兵庫県、福岡県、熊本県)
- ・養護教諭関連の共同研究、コーディネート、研修会の講師(兵庫県、岐阜県)
- ・自治体の委託研究、アドバイザー、市民講座の講師(加古川市、加西市)

問合せ先 福山市立大学事務局総務課(地域連携センター)

TEL:084-999-1112 FAX:084-928-1248 MAIL:renkei@fcu.ac.jp